

経営比較分析表（令和4年度決算）

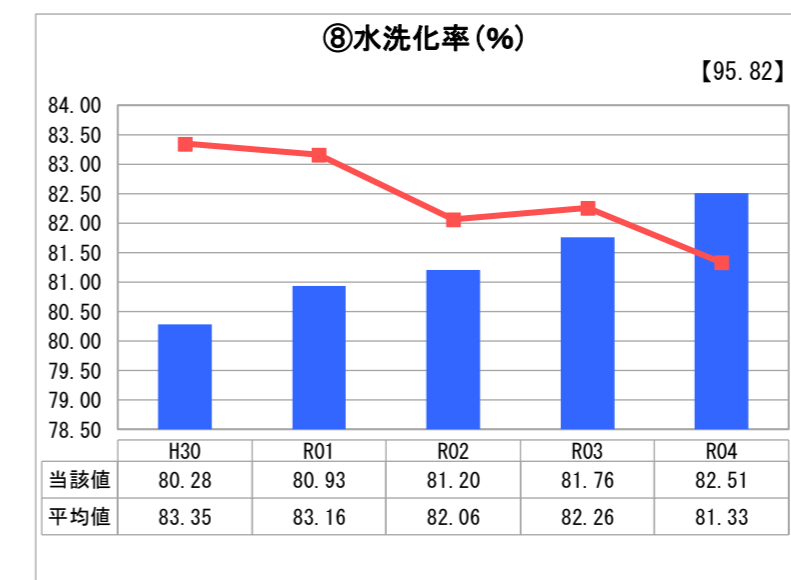
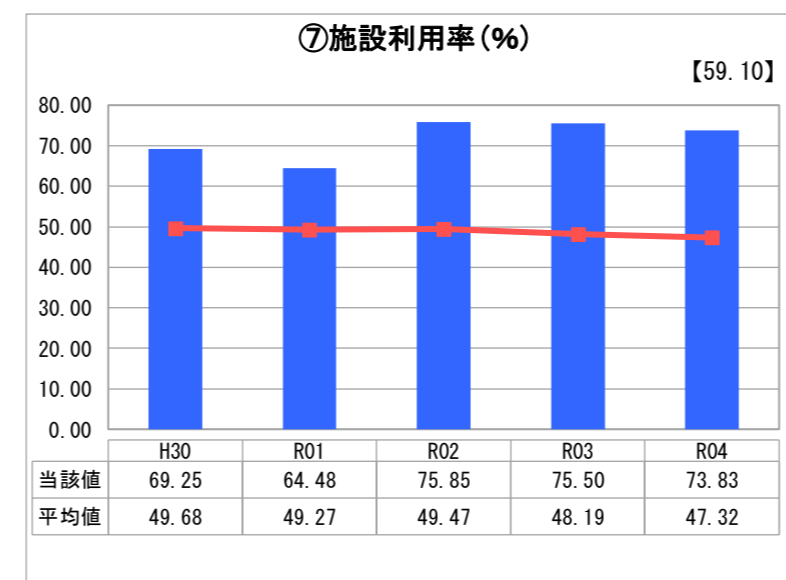
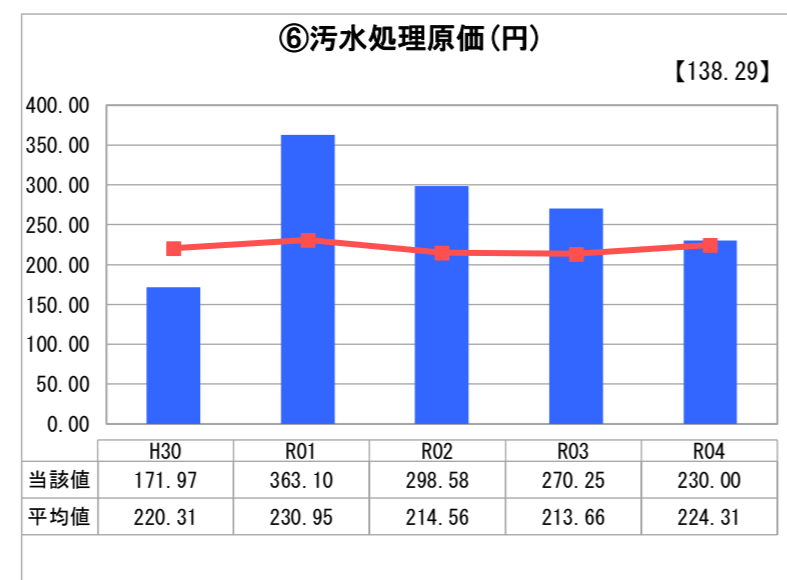
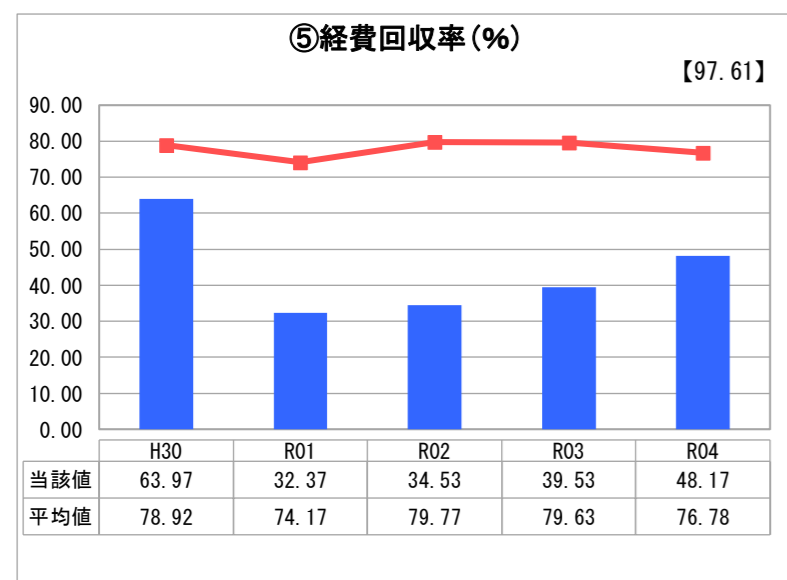
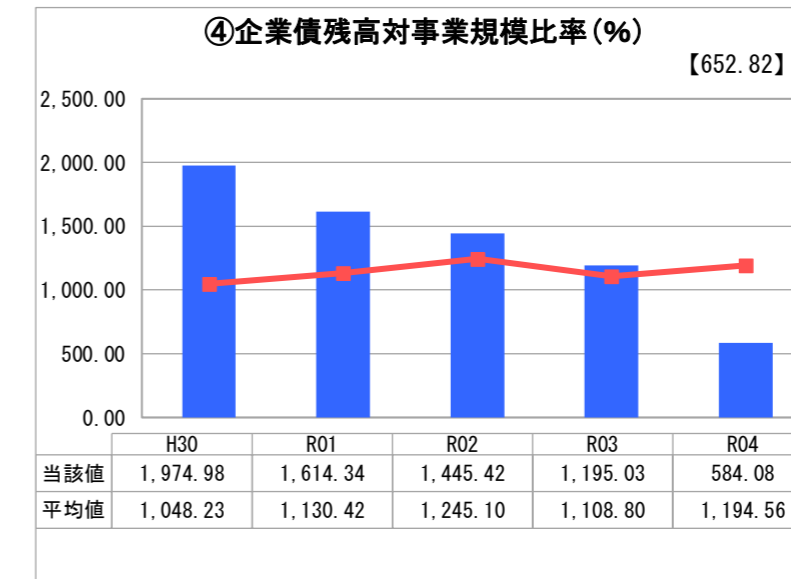
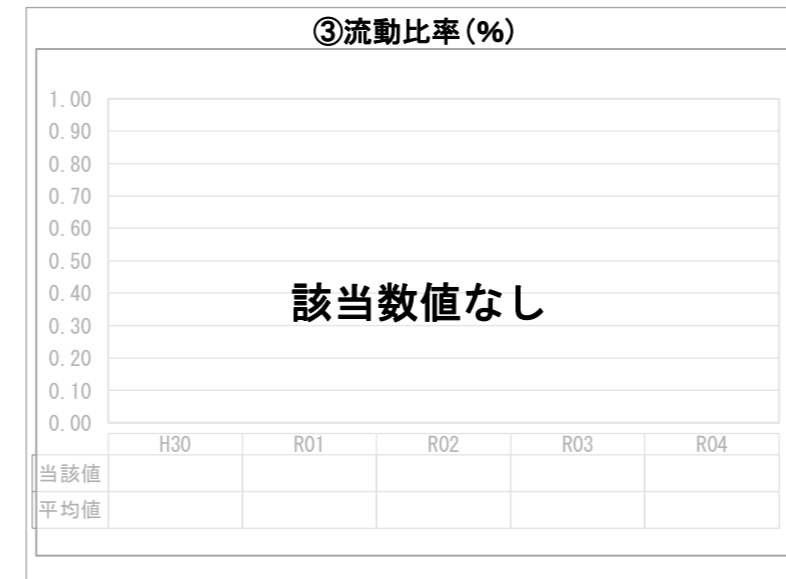
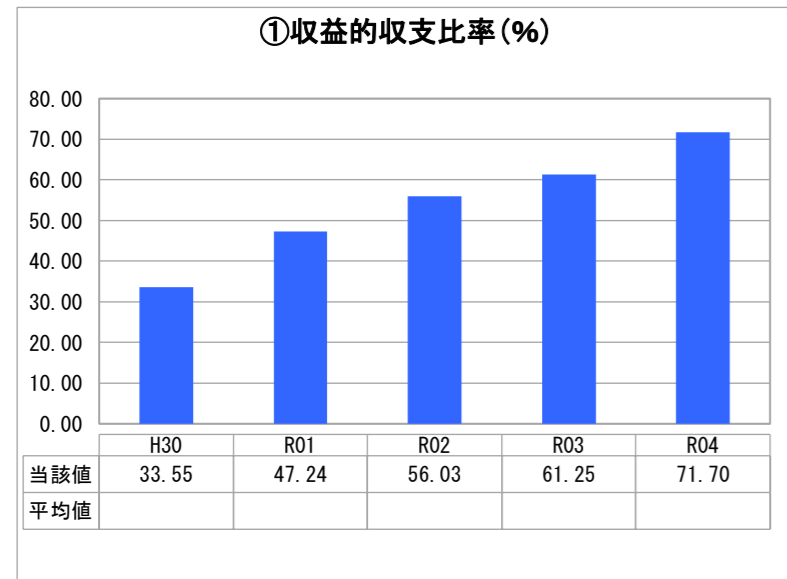
福井県 美浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	61.30	100.00	4,312

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,002	152.35	59.09
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,478	3.33	1,645.05

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率及び⑤経費回収率からみると、本町の公共下水道施設は、使用料金収入が低く汚水処理費用を賄うことができていない。そのため、地方債元利償還金や維持管理費の一部を一般会計からの繰入金として受け入れることで経営を維持している状況である。今後、人口減少等により使用料金収入の減少や設備更新投資の増加が想定されることから、料金改定の検討や維持管理費用の削減等、経営改善に向けた取り組みが必要である。

⑥汚水処理原価については、減少傾向ではあるが類似団体平均値より上回っていることから、投資の効率化や維持管理費等の削減といった経営改善が必要である。

④企業債残高対事業規模比率については、減少傾向ではあるが、料金改定を含めた使用料金収入の確保や施設の計画的な維持管理を行い、経営改善を図る必要がある。

⑦施設利用率については、類似団体平均値より高い状況ではあるが、今後汚水処理人口の減少により施設利用率の低下が想定されるため、一層の加入者増加に努める必要がある。

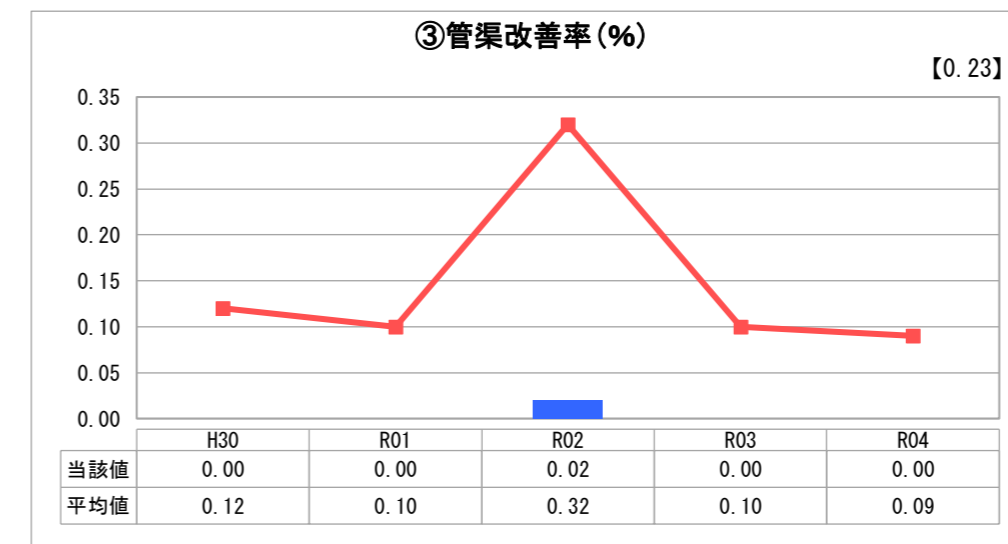
⑧水洗化率については、広報誌等で啓発を行うなど増加傾向にあり、更なる水洗化率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

平成元年度から事業に着手、管渠は平成2年度、処理場においては平成4年度から整備を開始。最も経過している管渠の最長は33年、処理場施設は28年となっているが、現状として管渠については、更新・老朽化対策は実施していない。

しかし、処理場施設は機械・電気設備の修繕が近年多くなってきていることから、ストックマネジメント計画に基づき、計画的に修繕や更新を行い、健全な施設管理に努める必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

現在、公共下水道の整備は完了している。しかし、水洗化率は増加傾向にあるものの、人口減少等による使用料金収入の減少、施設等の老朽化に伴う更新需要の増大が大きな課題となっている。

こうした中で、短期的な対策として接続促進の強化が重要であり、長期的な対策として使用料金収入の確保はもとより、将来的な施設の更新を見据え、ストックマネジメント計画に基づき、計画的な点検・更新等により適切な維持管理を行いトータルコスト削減に努める必要がある。

一方、今後想定される人口減少社会を鑑み、町全体の下水道計画区域の見直しを含め、効率的な下水道整備を進めていくことが重要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。